



## 患者用インフォメーション

# 糖尿病

糖尿病は、炭水化物・脂肪・蛋白質の代謝に異常の見られる、比較的良好に起こる慢性病です。アメリカにおける罹患者は2000万人、うち3分の1は正確な診断を受けていないと言われています。糖尿病は大きく1型と2型に分けられますが、どちらも異常に高い血糖値（高血糖）がその特徴です。

1型糖尿病では、血糖値を調節するホルモンの一つであるインスリンが生成されず、一方2型糖尿病では、血中にインスリンは存在しますがそれが正常に体内で利用されません。糖尿病患者の約90%は2型糖尿病です。糖尿病の原因は様々で、遺伝的因子と環境的因子の両方が関与しています。2型糖尿病については遺伝的要因が強く、食事や運動不足、肥満もまた、糖尿病にかかりやすくするリスクファクター（危険因子）として知られます。糖尿病は全身に影響を及ぼす危険な疾患であり、糖尿病患者は健常者と比べて、心臓病、高血圧、脳梗塞、腎不全、失明、神経炎、感染などのリスクが高くなります。また聴力障害（難聴）も起こしやすくなります。これは感染と戦う白血球の機能が低下するためです。

最も一般的な診断は、空腹時血糖によります。この検査では、測定時における血糖値を調べます（正常値：80-110mg/dl）。糖尿病の管理のゴールは、正常な血糖値を保つことです。正常な血糖値を保つことで、糖尿病に関連した合併症を予防または軽減できると広く理解されています。糖尿病管理の方法には、食事療法や運動療法、インスリンや経口血糖降下薬などによる薬物療法があります。治療方法の選択は、糖尿病の類型、重症度、そして患者のコンプライアンス（患者が医師の指示に従うか否か）によります。治療効果のより良い評価のため、医師が患者に対し、毎日の血糖値を記録するよう指導することもあります。もう一つ一般的な検査として、ヘモグロビンA1c (HbA1c)値があります。この値は長期（2-3ヶ月）にわたっての血糖値を評価するために用いられ、患者の血糖値管理について、医師に有用な情報となります。

### 糖尿病に関連した口腔内の変化

糖尿病がコントロールされていない患者では、歯周病、唾液腺機能不全、感染、神経炎、治癒遅延などの合併症が口腔内に起こる可能性が高くなります。いずれの状態も糖尿病特有ではありませんが、糖尿病にかかっているサインであることもあり、歯科医がさらに検査を勧めることもあります。

**歯周病:** 歯周病は糖尿病患者に共通して見られます。健常者の歯周病と似かよっているものの、糖尿病患者では免疫力が低下して治癒が遅延するため、歯周病の病態はより重症で、急速に悪化することがあります。(右図参照)。そのため、専門家による診査と治療を定期的に行うことが大切です。





## 患者用インフォメーション

# 糖尿病

**唾液腺機能不全：**糖尿病によって、唾液腺に様々な変化が起こります。最もよく見られるのは口腔乾燥症（**ドライマウス：患者用インフォメーション参照**）で、他には唾液線の肥大や唾石症（唾液腺官内の結石）、唾液腺感染などがあります。

**感染：**糖尿病がコントロールされていない患者では、体の様々な組織が感染を起こしやすくなります。最もよく見られるのが真菌感染（カンジダ感染）で、口腔乾燥症（ドライマウス）が更にそのリスクを高めます（**口腔真菌感染症：患者用インフォメーション参照**）。典型的には、舌、口蓋、頬、歯肉、口角等によく起こり、その感染部位は周囲より赤みが増します（右図参照）。糖尿病患者のう蝕（むし歯）のリスクについては、データがまちまちですが、口腔乾燥症のある人では明らかにそのリスクは高くなります。



### 糖尿病患者における、歯科治療（デンタルケア）の重要性

かかりつけ歯科医にて定期的に診療を受けることが大切です。糖尿病のコントロールがうまくできている場合は、一般的にいかなる歯科治療も問題なく受けることができます。一方、歯科医師の回避したい、よく起こる合併症の一つは低血糖症です。（右参照）

その予防には、以下が重要となります：

- 歯科治療の予約当日、予約時間前は通常通りの食事を摂る。
- 歯科治療の際に、自身の血糖値測定器を持参する。
- 歯科治療後は、歯科医の指示に従い処方された薬を服用する。
- 歯科治療の予約当日、体調が優れない場合はその旨を歯科医師に伝えて予約の変更をし、また、必要に応じて医師の診察を受ける。

#### 低血糖症

低血糖症またはインスリンショックとは、糖尿病管理において重要でよく見られる病態です。典型としては、糖尿病患者が正しく食事をしないままに通常のインスリン量を摂取した場合に起こります。結果として、摂取したインスリンが血糖値を危険なまでに低下させることとなります。初期には、発汗・神経過敏・空腹感などの症状が見られ、即座に糖（砂糖、ココア、ケーキアイシング等）が与えられないと、患者は意識を失って昏睡状態に陥る危険があります。

歯科受診の際には常に、服用中薬物や合併症についての情報を歯科医師に伝えるようにしましょう。歯科医師は、糖尿病患者の血糖値の管理状態および現在の病状（最近のヘモグロビンA1c (HbA1c)値を含める）を知る必要があります。一般的な歯科診療行為（検診、簡単な詰め物、クリーニングなど）については特別な変更は必要ありませんが、広範な外科手術や重度の感染処置などの治療の際は、患者の糖尿病の管理状態に応じた対応が必要となります。例えば、術後一時的に食事が困難になると予想される外科手術が必要である場合、処方薬物量や栄養の調整が必要です。



## 患者用インフォメーション

# 糖尿病

最も大切な事は、腫れ、痛み、赤みなどの口の中の変化に気づいた時に、できるだけ早く歯科医を受診する事です。それらの変化は血糖値に影響を及ぼす感染のサインであり、放っておくと感染と戦う自己の免疫力がさらに低下し、その結果、治療がより困難になることもあります。

### 糖尿病と口腔について Q & A

**Q: 糖尿病があると、口の中に合併症ができるの？**

**A:** あなたの口腔内の健康状態と、いかに血糖値がコントロールされているかによります。血糖値のコントロールができていないと、口腔内疾患も含め、糖尿病関連の様々な合併症につながります。一方、口腔内の健康状態がよくなないと、正しい糖(グルコース)の安定化が妨げられます。近年の研究により、口腔健康状態を改善できた糖尿病患者において、血糖値の管理の改善がみられたことが示されています。つまり、”健康な口腔は健康な身体の現れ“なのです。

**Q: どんな糖尿病治療の合併症が口の中に影響を与えるの？**

**A:** 糖尿病管理において最も深刻で緊急を要する合併症の一つは、上記に説明された低血糖症(インスリンショック)です。付け加えて、糖尿病と、高血圧や心臓病などの糖尿病合併症を治療するための薬剤の多くに副作用があり、それが口の中に影響を及ぼします。よく見られるのは口腔乾燥症(ドライマウス)や味覚異常、そして口内痛です。

**Q: 2型糖尿病を患っています。口の中の問題は、1型糖尿病と比べて違うの？**

**A:** いいえ。すべての糖尿病患者において、口腔疾患にかかるリスクがあります。違いとしては、2型糖尿病では1型糖尿病よりも病状の進行は遅く、それゆえ2型糖尿病はより遅く診断される傾向があり、診断された時点では既に口腔内疾患を患っていることが多いと言えます。繰り返しますが、糖尿病に特有の歯科疾患といったものではありません。糖尿病が良く管理されていないと、他の疾患をコントロールするあなたの身体の力が衰えるのです。

**Q: 糖尿病と妊娠の関係は？**

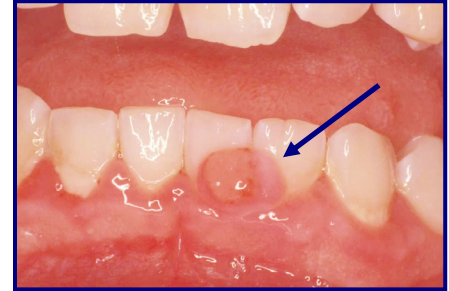
**A:** 糖尿病患者が妊娠した場合と、妊婦が妊娠性糖尿病を患う場合の二通りが考えられます。妊娠性糖尿病とは、妊娠中に発見される高血糖の状態を示します。これは妊娠状態が終わると、しばしば改善されるものの、妊娠性糖尿病を経験した女性は、妊娠中に高血糖を起こさなかった女性に比べて、後に2型糖尿病になるリスクが高くなります。糖尿病の型に関わらず、医師は病状および治療に対する反応を注意深くモニターします。正しい血糖値のコントロールは母体の健康に重要なだけでなく、胎児にも影響を与えるのです。



## 患者用インフォメーション

# 糖尿病

歯科的見地から、歯肉炎や妊娠性エプーリスと呼ばれる歯肉病変を起こす、ホルモン変化が妊娠によって起こります（右図参照）。言うまでもなく、血糖値のコントロールができていなければ、これらの疾患のリスクは高くなります。それゆえ、妊娠した場合は早い目に 歯科受診をしましょう。歯科医師が口腔疾患の予防・管理を最大限にできるよう、自宅でのケアについての指導を行います。



### 糖尿病と口腔管理についての追加資料

米国国立衛生研究所—Dental and Craniofacial Research

[www.nidcr.nih.gov](http://www.nidcr.nih.gov)

米国糖尿病学会

[www.diabetes.org](http://www.diabetes.org)

米国歯科医師会

[www.dental.org](http://www.dental.org)

米国歯周病学会

[www.perio.org](http://www.perio.org)

糖尿病モニター

[www.diabetesmonitor.com](http://www.diabetesmonitor.com)

David Mendosa

[www.mendosa.com](http://www.mendosa.com)

Diatrife

[www.diatrife.us](http://www.diatrife.us)

このモノグラフに含まれる情報は、教育目的のみに作成されています。本情報は、専門医のアドバイス、診断、治療にかわるものではありません。健康状態についてのご質問は専門医療提供者にご相談ください。本モノグラムに提供された情報のみに頼ることは、あなたの健康のリスクにつながります。

オーラルメディシン米国アカデミー (THE AMERICAN ACADEMY OF ORAL MEDICINE : AAOM) について

オーラルメディシン米国アカデミーは、デンタルメディシン米国アカデミーとして1945年に設立された非営利団体 (501c6) であり、1966年に現在の名称に改称されました。オーラルメディシン米国アカデミー会員は、国際的に認識されるヘルスケアプロフェッショナルのグループを含む、複雑な全身疾患・口腔粘膜疾患・慢性口腔顔面疼痛などを患う患者の口腔ケアに携わる専門医からなります。オーラルメディシンは、複雑な全身疾患の口腔管理を担い、口腔顔面領域に影響を及ぼす医科関連疾患とその病態の診断および非外科的処置を担う歯科専門分野です。

The American Academy of Oral Medicine • (425) 778-6162 • [www.aaom.com](http://www.aaom.com) • PO Box 2016 • Edmonds • WA • 98020-9516